

Steve Rimmer 著
望月美英子 訳
翔泳社 発行

313頁 2800円
ISBN : 4-88135-267-9

WWWと違う場所へ 連れて行ってくれる

『インターネットの歩き方』

電車の時刻表や旅行のガイドマップを読んで旅行へ行った気分を味わう趣味があり、紙上旅行というらしい。インターネットの世界を紙上旅行するときに携帯したいのが本書である。タイトルもそうだが、装丁もモロに有名な旅行ガイドブックの「地球の歩き方」を意識している。原題が「PLANET INTERNET」なので、かなり意識したのだろう。内容はインターネットのガイドブックとして、カテゴリーをア

ルファベット順に並べ、ニュースグループ、FTP、メールアドレス(メーリングリスト含む)、Gopher、Fingerのアクセス先と内容が載っている。この種の本の大多数が電話帳のようで、アクセスしてみないとつまらないものだが、さすがにガイドブック風になっているだけあって、読んでいても雰囲気味わえる。実際の旅行のガイドブックにつきもののお勧めマークも「心休まる場所」「内容的に問題のある場所」「エロティックな内容の場所」と分けてある。「内容的に問題

のある場所」のマークがある場所は、別に治安が悪いわけではなく、不適当な発言をすると過激に反論されるような初心者向きではない場所のこと。このような本では珍しくWWWを取り上げていないのが少し寂しいが、その分を差し引いてもこの本で次に訪ねる所を探すのは楽しいだろう。(菊地)



知らない所へ行ってみよう

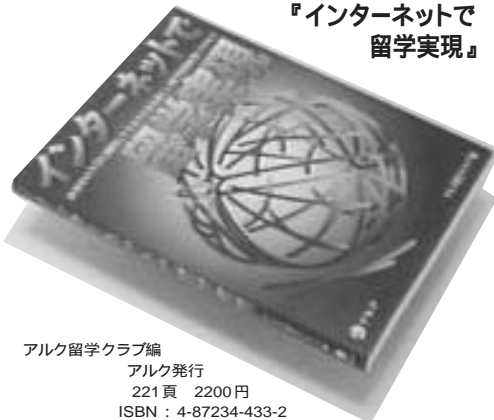
鷲谷好輝 Yoshiteru Sagiya 菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

海外留学希望者のインターネット活用法

『インターネットで留学実現』

旨のようだ。WWWで学校案内をブラウズしたり、Gopherで資料書類を探したりできることを説明し、実際に集めた資料を事例に挙げている。技術的な説明は抑え、どの学部資料はどの辺りにありそうかといった検索の目安になる情報が主体となる。後半は、留学体験者が留学にはパソコンが必要だと語る記事や、これからパソコンを買う人へのアドバイス、Yahooから探し出せる世界のWWWサーバー設置大学名のリスト、商用パソコン通信で利用できる有料データベースの記事と続く。残念なのは、WWWサーバー設置大学がURLで記載されておらず、大学名のみになっているので探すのが大変なことだ。欄外の記事はおもしろい。どこそこの国のサーバーは英語以外で表記されているらしく文字化けしたとか、アクセスに4日かかったとか。行動派留学希望者は読んでみるといいだろう。(菊地)

インターネットの本といえば、ビジネス本が技術本と相場が決まっていた。しかし、この本は留学を希望する非コンピュータマニア向けの本である。留学といっても英語を母国語にする国、とくに米国の学校を中心にしている。留学を希望しても、学校案内や手続き、資料の請求などの事務手続きが面倒であるわけだが、それにインターネットを使おうではないかというのが本書の主



アルク留学クラブ編
アルク発行
221頁 2200円
ISBN : 4-87234-433-2

かなり難しい入門書？

『インターネットが本当に使いこなせる！ for Macintosh』

カメラの本のようなカバーデザインにビジネス書のようなタイトル。帯には「インターネットのプロ」最先端の技術者がおくる究極の手引き書」とある。目次に進むと、インターネットの概要、展望、現在のサービス、Macintosh用インターネットソフトの使い方が説明されることがわかる。マックユーザのためのインターネット入門書かと思うとそうでもなさそうだ。Part 1が始まって数ページ目でいきなりTCP/IPのプロトコルレイヤー、インターネットアドレスの話が展開している。これについていける読者ならインターネットをすでに使いこなしているのではと勝手に思ってしまうほどだ。このあと

もTeleScriptやMBone、Magic Cap、PGPやPEMの専門用語がボンボンでくる。追いつけかけないようにPart 4のネットワークサービスを紹介する章で用例として取り上げる機種がSUNワークステーションになっている。また、Part 7のCU-SeeMeの説明ではリフレクターやnv、vatの説明上SUNワークステーションベースでの説明。Macintoshしか知らない読者にはチンプンカンプンだろう。もしかしらこの本のタイトルは、「全部読み終える技術レベルがあればMacintoshユーザーとしてインターネットは使いこなせるだろう」という意味かもしれない。(菊地)



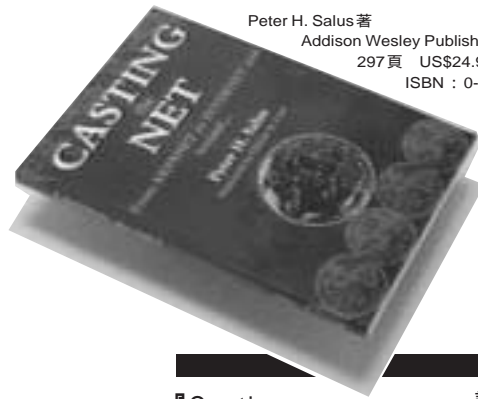
富士通研究所
浅川和雄編著
富士通経営研修所発行
246頁 2200円
ISBN : 4-938711-29-X

気になるとキリがない セキュリティの問題

『E-Mail セキュリティ』

かつての人気TV「サンダーバード」の一話に、ペネロープとパーカが実験的に銀行の金庫破りを試みて、そのシステムの安全性を確認するというのがあった。セキュリティが絶対に破られないことを証明するのは難しいらしく、破る方法が見つかった時点でその方法では技術的・経済的に割が合わないことを確認し、「たぶんこのセキュリティは実用に値するだろう」と判断するわけだ。本書も第1部でいくつかの暗号化システムを説明しながら、セキュリティ破りがどのくらい困難かを解説し、「DES」や「IDEA」の暗号化方式や公開鍵アルゴリズム、デジタル署名

名の「RSA」や「DSA」などを初めてセキュリティに関する本を読む人でもわかる程度に書いている。第2部では、第1部で取り上げた技術を使って作られた電子メールのセキュリティシステム「PEM」「PGP」を比較、さらに原点に戻って攻撃法(逆説的に安全性)を解説する。残りの付録は「PGP ユーザーズガイド」(94年5月22日版)、PEMの資料「Privacy Enhancement for Internet ElectronicMail:」(93年2月版)のパート1~4と「RIPEM ユーザーズガイド」の日本語訳。この部分の内容は難しくなっているが、それぞれのシステムを導入する場合には有益な情報だろう。第1部、第2部、付録と段階的に高度となっていくものの、読者がそれぞれのレベルで理解しやすいように書き分けられている。(菊地)



Peter H. Salus 著
Addison Wesley Publishing Company 発行
297頁 US\$24.95
ISBN : 0-201-87674-4

技術的側面から 歴史をふり返る

『Casting the Net』

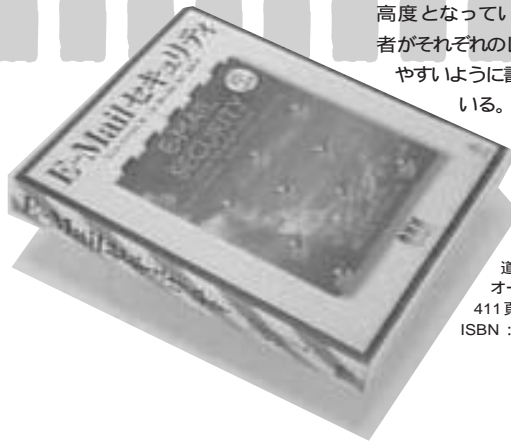
副題に「From ARPAnet to The Internet」とあるように、本書はインターネットの歴史について書かれており、インターネットの母体ともなったARPAnetの誕生から、現在のインターネットまでの歴史が詳しくわかるようになっている。

まず、それぞれの年代の歴史的イベント(もちろんコンピュータネットワーク分野についての歴史)を最初に年表としてあげ、そのあとで、それぞれの歴史の背景や詳しい事実、および関連するコンピュータプロトコルの開発経緯について述べてある。日本についていえば、JUNETやWIDEに関する

記述も出ているが、この辺りは前に紹介した村井純先生の書かれた『インターネット宣言』のほうが詳しい。

全体的に見ると、単なる歴史の読み物ではなく、各種TCP/IPプロトコルの開発経緯をメインとしているため、内容的には技術者・研究者向けの文献と言えるが、パケットのフォーマットのような細かい説明はない。逆に開発を担当した人へのインタビューや、RFCや電子メールのメッセージを多用しているため、システムにそれほど詳しくない人でも理解できるだろう。

なお、まえがきはTCP/IPの開発者であるVinton G. Cerfが、また、シリーズのまえがきはJohn S. Quartermanが書いている。(鷲谷)



Bruce Schneier 著
力武健次監訳
道下宣博訳
オーム社発行
411頁 3500円
ISBN : 4-274-06117-5

NHKにも出してほしい テレビ番組用テキスト

『The Internet』

表紙に「The Official Book of the Public Television Presentation The Internet Show」と書かれている。どうやら、海外のケーブルTV(?)で放送されたインターネット入門番組のテキストブックらしい。

写真が入ったフルカラーのきれいな本で、書かれている内容も、インターネットの入門書としてはかなりレベルの高いほうに入るだろう。説明の文章も簡単な英語でわかりやすく書かれているし、また、用語解説もきちんとしていて、

立ち読みしていきなり気に入ったのでおもわず購入してしまった。

内容は、「ネットワークとは」から始まって、インターネットのセキュリティ問題、基本的な電子メールやGopher、WWW、FTP、WAISなどのサービスの紹介、それにゲームやスポーツ、天気、教育、政府、ビジネス関連のどういった情報がどのようにしてインターネットで手に入るかについての説明、さらにはこれからのインターネットについての考察も掲載されている。

あちらのケーブルTVでは



Paul Hoffman 著
IDG Books 発行
210頁 U.S.\$24.99
ISBN : 1-56884-461-1

『Magic Link』の講習会なども放送

していると聞く。日本でも、NHKでインターネットの紹介を見かけたことがあるが、それ用のNHKのテキストブックが出ているのを見たことがない。きっと、これからが本当のインターネットブームなんだろうなと考えさせられてしまった。(鷲谷)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp